

競技注意事項

1. 本大会は 2021 年度日本陸上競技連盟規則および大会要項・競技注意事項によって行う。

2. 招集方法

- ◇ 選手招集所は 100mスタート後方のゲート付近に設ける。
- ◇ 招集の時刻は、競技開始時刻を基準として下記の通りとする。この時刻に遅れた場合、失格となる。

競技種目	招集開始時刻	招集終了時刻
トラック競技	30 分前	20 分前
フィールド競技(棒高跳を除く)	40 分前	30 分前
棒高跳	60 分前	50 分前

- ◇ 招集開始時刻にトラック競技は招集所、フィールド競技は各ピットにて競技者係の点呼を受けること。その際、アスリートビブス・腰ナンバー標識(トラック競技)・商標、スパイクのピンのチェックを行う。
- ◇ 招集は本人のみで代理人によるものは認めない。ただし種目を兼ねて出場する者で同時に 2 種目行われる者は、その旨を競技者係及び審判員に申し出て、競技の進行に支障の無いようにすること。
- ◇ リレーのオーダー用紙は、第 1 組の招集完了時刻の 1 時間前までに競技者係(招集所)に提出する。

3. アスリートビブス(ナンバーカード・腰ナンバー標識)

- ◇ ナンバーカードおよび腰ナンバーは、割り当てられた番号をはっきり大きく書く。
ナンバーカードは胸・背部に確実につけること。(跳躍種目の競技者は胸または背の片方でもよい)
- ◇ トラック競技に参加する競技者は、レーン番号の腰ナンバー標識を右腰やや後方に付ける。
リレー競技の場合は第 4 走者のみ付ける。
- ◇ 感染症対策のため、アスリートビブス(ナンバーカード・腰ナンバー標識)は各自で作成する。ナンバーカードは最大 16cm×24cmの白布、腰ナンバー標識は最大 12cm×18cmの白布とする。

4. 競技方法

- ◇ トラック種目のレーン順、フィールド種目の試技順はプログラムに示した上から下(2 列の場合は左の列より)で行う。空いたレーンがあっても原則的につめないで行う。
- ◇ スターターのコマンドは英語で行う。各レースで不正スタートをした競技者はすべて失格とする。
- ◇ トラック競技における TR5.13 に違反するシューズでの出場は認めない。800m未満の種目は靴底の最大の厚さは 20 mm、800m以上は最大 25 mmとする。
- ◇ フィールド競技においては TR5.5 (靴底と踵について)を適用しない。よって、記録は国内でのみ通用するものとなり、WA への申請も行わない。しかし国際競技会への参加資格となり得る記録が出た場合は、競技終了直後に全員のシューズを検定する場合がある。
- ◇ 5000mにおいて、残り1周の時点で 25 分を超過した選手は、審判長の判断で競技を中止させることがある。
- ◇ 3000mにおいて、残り1周の時点で 15 分を超過した選手は、審判長の判断で競技を中止させることがある。
- ◇ セパレートレーンを使用する競技では、安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーンを走ること。
- ◇ リレー競技のマーカの使用は 1 ヶ所とする。マーカは 40cm 以下のものを各チームで用意し、レース終了後に必ず自チームで撤去すること。
- ◇ 走幅跳、砲丸投の 3 回の試技の後、トップ8はさらに3回の試技を行う。
- ◇ 走高跳/棒高跳のバーの上げ方は現地(ピット)で担当審判員が決定する。
- ◇ 競技(練習)で使用する用器具は棒高跳のポールを除いて競技場備え付けのものに限る。

- ◇ ハードルは次の規格で行う。

種 目	ハードルの高さ	ハードル間の距離
一般・高校男子 110mH	1.067m	9.14m
中学3年男子 110mH	0.991m	9.14m
中学共通男子 110mH	0.914m	9.14m
一般・高校女子 100mH／中学1年男子 100mH	0.838m	8.50m
中学3年女子 100mH	0.762m	8.50m
中学共通女子 100mH	0.762m	8.00m

- ◇ 投てき器具の重量は次の通りとする。

投てき種目	重量
一般男子 砲丸投	7.260kg
高校男子 砲丸投	6.000kg
中学3年男子 砲丸投	5.000kg
中学1・2年男子 砲丸投	4.000kg
一般・高校女子 砲丸投	4.000kg
中学女子 砲丸投	2.720kg

5. 練習について

- ◇ 周回競技時を除いて第2コーナーから第3コーナーまでをウォーミングアップエリアとする。ただし、競技運営上、練習を制限することがある。練習中は各々が事故防止に万全を期すること。競技役員の指示に従い、指定された場所・時間の範囲内で行うこと。
- ◇ 周回競技中はスタート後安全が確認されてから競技役員の指示に従って練習を行うこと。3000mの競技中では第2コーナーにおけるレーンの練習を認める。(5レーン～8レーン)
- ◇ 競技区域内で練習する際は、ADカードを身に着けること。

6. 記録証

記録証は団体ごとに封筒にまとめて出場者全員に配布する。競技終了後に代表者1名が表彰係まで取りに行くこと。
(正面入口を入れて右側【放送室】)

7. 競技場使用上の注意

- ◇ ウォーミングアップエリアへの移動の際は、競技の妨げとならないように注意すること。
- ◇ フィールド内の芝は使用禁止となっているので入らないこと。
- ◇ スタンドおよび建物内はスパイクを履いての通行を禁止する。
- ◇ 貴重品や衣類の管理は各自で行い盗難防止につとめること。
- ◇ ごみ類は必ず持ち帰ること。競技場内の整備につとめ、帰るときは必ず清掃をすること。
- ◇ 通行禁止区域を守ること。セーフティーコーン設置場所には絶対に入らないこと。
- ◇ メインスタンド、およびサイド、バックの芝スタンドは選手の待機場所として利用できる。ただし席の間隔をあけるなどして密を避け、近距離での会話や大きな声を控えるよう配慮すること。場内での過ごし方に問題がある場合は退場させることがある。また、サイドおよびバックの芝スタンドはブルーシートやテントの使用を認めるが、メインスタンドでのブルーシート等の使用はできない。スタンド以外の競技場内グラウンドレベルにおける場所取りは禁止する。

8. その他

- (ア) 申込み後の種目の変更および追加は認めない。
- (イ) 高校生以下の出場者は引率教員または引率保護者がいない場合、大会への出場ができない。
- (ウ) プログラムの訂正(氏名、ふりがな、学年、所属等)は9時まで、または遅くとも競技開始時刻の90分前までに大会本部に申し出ること。記録確定以後の訂正(記録証の訂正を含む)には、一切応じない。なお、プログラムの記載事項は申込みの際に送信されたデータをそのまま使用している。

- (エ) 練習で使用したリレーのスタート用マークは、その都度各チームで撤去する。
- (オ) 選手の負傷については、応急処置のみを主催者で行うが、それ以後の責任は負わない。
- (カ) 競技場は全天候舗装のため、スパイクのピンは 9mm以下(走高跳は 12mm以下)を使用すること。
- (キ) ゴミ類は必ず自宅まで持ち帰ること。(決して競技場周辺地域や駅などに捨てていかないこと)
- (ク) 出場者と大会役員以外はトラック、フィールド内に立ち入ることができない。
- (ケ) 近年、盗撮の事例が報告されている。盗撮は犯罪である。大会役員が声かけをする場合がある。
- (コ) 大会の映像・写真・記事・個人記録(氏名・所属含む)等が、大会プログラム・雑誌・インターネット等の媒体に掲載されることがある。その掲載権、使用権は主催者に属します。
- (サ) 開場(予定)は、8:30に AD カードを持つ代表2名が【B ゲート】から入場とする。代表者の入場を終えた後は【C・D ゲートのみを開放する】通行には AD カードが必要。
- (シ) 競技場内の駐車及び区民農園駐車場への駐車はできません。有料駐車場をご利用ください。
- (ス) ほかに不明の点は、本部(総務)まで問い合わせること。

【新型コロナウイルス感染症対策について】

① 競技者及び来場者に関して

- 1) 来場にあたっては、3つの密(密閉、密集、密接)を避け、参加競技者・マネージャー・学校顧問・監督・コーチ(顧問等が不可の場合は保護者引率)のみで来場する。競技は無観客で行い、ADカードを保持しない者の入場は認めない。ADカードは首から掛けいつでも見えるように徹底する。
- 2) 体調がよくない場合(例、発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合)は来場を控える。
- 3) 以下の事項に該当する場合は、来場及び競技への参加を認めない。
 - ・当日の体温が 37.5℃以上あり、強い倦怠感と息苦しさがある場合。
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。
- 4) 競技者は競技会開催2週間前から検温を実施し、個人または団体ごとに指定の報告書に記載する。管理は監督・コーチとし、大会中に主催者が求めた場合は提出できるようにしておく。書式はホームページより事前にダウンロードする。
- 5) 中学生の【大会参加同意書】は各団体責任者が集め、主催者が求めた場合は提出できるように当日は持参し、大会後2週間は保管する。
- 6) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対し濃厚接触者の有無等について必ず報告する。

② 来場及び競技の参加にあたって

- 1) 参加者は競技のウォーミングアップ開始に合わせて来場し、競技終了後は速やかに帰宅する。
- 2) 来場にあたり、マスク・マイタオルを持参し、運動時を除いては原則としてマスクを着用する。
- 3) 石けん等を用いた手洗い・手指消毒、うがい、洗顔を励行する。
- 4) 声を出しての応援、集団での応援は禁止とする。
- 5) ウォーミングアップ・招集等は、役員の指示に従い、ソーシャルディスタンスを確保する。
- 6) 競技用具使用後は手洗いまたは手指消毒を行う。
- 7) 更衣室の利用、滞在は短時間で済ませる(シャワールームの使用は禁止する)。
- 8) 飲食等の際は感染リスクが高くなる為、短時間・ソーシャルディスタンス・会話は控える等感染防止に努め、換気の良い場所で行う。
- 9) 飛沫拡散を防ぐ為、応援や大声・近距離での会話は避ける。
- 10) タオル、ペットボトル、コップ等の共用を控え、個人用を用意する。また、ゴミは各自で必ず持ち帰る。